

令和2年度(下半期)
経営発達支援計画に基づく短期目標に係る総合評価

1. 地域経済活動向調査

評価対象事業

- ・管内の小規模事業者の景況調査経済動向資料の分析・作成
- ・公的機関が発行する資料の整理・分析

実施状況

管内の小規模事業者 80 社を対象に、景気動向調査を 12 月と 3 月に行い公表した。
併せて公的機関発行の景況に関する資料を収集し、公表資料に盛り込んだ。

評価・コメント

コロナ禍における多可町の社会経済活動の現状を確認できる貴重なデータであり、更に詳細な分析をお願いしたい。

対策

需要動向調査とともに調査結果の活用策を検討し、説明・報告を行う。

2. 経営状況の分析 及び 3. 事業計画策定

評価対象事業

- ①事業計画策定セミナーの開催
- ②創業スクールの開催
- ③事業承継に関する個別相談

実施状況

- ①重点支援先を対象として、4 回(今回の評価対象は 4 回目の 10/13 開催分及び開催後のアンケート結果)に渡るデザイン経営を軸とした経営計画作成に関するWEBセミナーを開催した。セミナーでは、「ビジョンシート」と呼ばれる様式に各社の事業計画を落とし込みながら進めた。アンケートは概ね好評だったが、セミナースケジュールがタイトとの意見があった。
- ②起業プラザひょうごと連携して創業スクールを開催し、多可町内外から延べ57名が参加した。4回(10/7, 10/14, 10/21, 10/27)の講義では、創業の心構えからマーケティング、資金計画、人材育成までの研修の他、先輩経営者の体験談を交えて実施した。
- ③中小企業診断士による事業承継の個別相談を開催し、6者が相談した。

評価・コメント

今回の事業計画策定セミナーのアンケートにあった不満の理由を把握し、今後の支援に活かしてほしい。

対策

今年度の事業計画策定セミナーでは、受講者からの意見を踏まえて余裕を持ったスケジュールで開催する。

4. 事業計画策定後の実施支援

評価対象事業

- ・巡回・窓口相談によるフォローアップ

実施状況

重点支援先に対して、3月31日現在で重点支援先33者に対して、延べ826回の支援（巡回相談・窓口相談）を実施した。売上増加、利益率3%以上増加事業者は12者の目標に対して、ともに4者となった。

評価・コメント

- ・コロナの影響があるが、売上増加・利益増加にこだわって支援してほしい。
- ・参加者のやる気が高まったことは素晴らしい。経営力アップの糸口になると思う。

対策

今年度も、町とも連携しながら継続的に支援を実施し、各種支援制度を積極的に活用する。

5. 需要動向調査

評価対象事業

- ・ヒトを対象にした需要動向調査（高齢者）
- ・モノを対象にした需要動向調査（衣生活・食）

実施状況

3つの需要動向調査については、（一社）兵庫県中小企業診断士協会に調査方法の指導、調査票の設計と結果の分析を委託した。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当初の計画と異なる方法（対象や調査方法の変更）での実施となった。

評価・コメント

高齢者を対象とした調査報告書に一部不備があったが、町内の需要動向を把握できるのはありがたいとの声があった。また衣生活の需要動向の調査方法に関して、多可町で播州織を扱っている道の駅等の店舗での調査を要望する意見があった。

対策

昨年度は調査方法の変更を余儀なくされたが、2年目事業では重点支援先のニーズに沿った情報収集ができるよう、調査の方法や項目を再検討して実施する。また、調査結果の概要を一目で把握できる簡易版の資料を作成する。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

評価対象事業

- ・町行政と連携した支援（定例記者発表での後方支援）
- ・ITセミナーの開催
- ・地場産業「播州織」に対する展示会等出展事業
- ・「食」にまつわる地域資源に対する展示会等出展事業

実施状況

コロナ禍での会員企業の取組について、町の定例記者発表を活用した広報支援を行った

ほか、SNSでの情報発信に関するミニセミナーの開催を行った。展示会出展支援では、出店を予定していた展示会がいずれも中止となり、食の展示会は実施できなかった。一方で、播州織に関しては、代替策として「オンライン展示会」を開催した。

評価・コメント

中止となった展示会の代替策として実施したオンライン展示会について、「実施できてよかった」との評価をいただいた。また、SNSを活用した情報発信に関して「手間ではあるが効果はあるので、積極的に推進して欲しい」との意見があったほか、非会員企業の加入事例に関して、「地域の非会員企業への支援を充実させて、組織強化につなげて欲しい」との要望もあった。

事業全体を通じて

評価・コメント

「コロナ禍においてできる限りの支援をしている様を実感した」「コロナ禍の中で予定通り事業が実施できない中、計画通り進めるよりも状況を見て、柔軟に対応していただきたい」との意見があった。

